

自動車アセスメントとは

- 自動車ユーザーが安全な車を選びやすい環境を整えるとともに、自動車メーカーによる安全な自動車の開発を促進することにより、安全な自動車の普及促進を目的として平成7年度より実施
- (独)自動車事故対策機構が、市販されている自動車を対象に、衝突時の乗員の被害軽減性能、予防安全性等との比較試験を行い、その結果を公表
 - ※ 自動車アセスメントの一環として、「チャイルドシート」の安全性能比較試験(前面衝突試験、使用性評価試験)も実施

試験の実施

直近1年間の販売実績が上位の車種や自動車メーカーから希望のあった車種について、衝突試験、歩行者頭部保護性能試験等のさまざまな安全性能評価試験を実施

衝突安全性能評価 (平成7年度～)

○フルラップ[®]前面衝突試験



○オフセット前面衝突試験



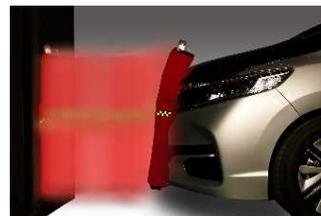
○側面衝突試験



○後面衝突頸部保護性能試験



○歩行者頭部保護性能試験 ○歩行者脚部保護性能試験



予防安全性能評価 (平成26年度～)

○対歩行者自動ブレーキ



H28年度
NEW!

横断中の歩行者を検知し、自動でブレーキ操作を行うシステムについて、衝突の回避あるいは減速量に応じて評価

○対車両自動ブレーキ



○車線はみ出し警報



○後方視界情報



結果の公表

パンフレットやホームページにおいて、★の数など、わかりやすい形で、評価結果を公表



○予防安全性能評価のイメージ

メーカー		車種名	
被害軽減ブレーキ	発売年月: 2016年7月～		
○対車両 検出時	動作域 10～60km/h	Point	32.0/32.0
○対歩行者 検出時	動作域 10～60km/h	Point	24.5/25.0
はみ出し警報 検出時	動作域 60km/h～	Point	8.0/8.0
後方視界情報 検出時		Point	6.0/6.0
		ASV++	
		70.5/71.0	